



議会だより

平成 25 年 8 月 発行

発行 / 小矢部市議会

電話 (0766) 67-1760 (内線322)

FAX (0766) 68-0194



火牛がまちなかを疾走

7月27日、「2013メルヘンおやべ源平火牛まつり」が開催され、火牛の計レース（子どもの部）では、夏の暑さにも負けず、全力で火牛を押す子どもたちが活躍しました。子どもたちの一生懸命な姿に沿道から大きな声援が寄せられました。

5月臨時会の概要

5月2日の1日間を会期として開催しました。

東部産業団地造成事業用地取得等に伴う債務負担行為の補正を含む平成25年度小矢部市一般会計補正予算が上程され、質疑の後、起立採決により原案のとおり可決しました。

また、専決処分事項2件を承認しました。

6月定例会の概要

6月7日から21日までの15日間を会期として開催しました。

初日は平成25年度小矢部市一般会計補正予算など議案5件と公益財団法人クロスランドおやべの経営状況など関係法令等に基づく報告案件5件、6月13日には議案1件と人事案件1件、また最終日には議案1件と人事案件1件が追加上程され、計14議案を原案のとおり可決しました。

また、議員派遣を可決しました。

目次

概要	1
可決議案・報告事項	2
審議経過	3
人事案件等	
請願・陳情の処理状況	
9月定例会の日程	
代表・一般質問	4
傍聴のお知らせ	8
議長交際費	
議案報告等	9
委員会報告	
編集後記	10

5 月臨時会で可決された議案**(補正予算)**

議案第34号 平成 25 年度小矢部市一般会計補正予算 (第1号)

(専決承認)

承認第 2 号 専決処分事項の承認について

専決第2号 小矢部市税条例の一部改正について

承認第 3 号 専決処分事項の承認について

専決第3号 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について

6 月定例会で可決された議案**(補正予算)**

議案第35号 平成25年度小矢部市一般会計補正予算 (第2号)

議案第36号 平成25年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)

議案第37号 平成25年度小矢部市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)

(条例の一部改正)

議案第38号 小矢部市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

(その他)

議案第39号 市道の路線認定について (東部産業団地線)

(追加議案・補正予算)

議案第40号 平成25年度小矢部市一般会計補正予算 (第3号)

(追加議案・その他)

議案第41号 財産の取得について (除雪トラック2台)

(追加議案・人事案件)

同意第 1 号 小矢部市教育委員会委員の任命同意について

同意第 2 号 小矢部市固定資産評価員の選任同意について

6 月定例会で報告された事項**(経営状況等報告)**

報告第 1 号 平成24年度小矢部市継続費繰越計算書の報告について

報告第 2 号 平成24年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告について

報告第 3 号 小矢部市土地開発公社の経営状況報告について

報告第 4 号 公益財団法人小矢部市体育協会の経営状況報告について

報告第 5 号 公益財団法人クロスランドおやべの経営状況報告について

5月臨時会の
審議経過

2日 全員協議会
本会議（提案理由説明、
質疑・討論・表決）

6月定例会の
審議経過

7日 本会議（提案理由説明）
全員協議会
10日 議案調査日
11日 議案調査日
12日 議案調査日
13日 議会運営委員会
全員協議会
本会議（質疑・表決）
（代表・一般質問）
17日 防災・環境対策特別委員会
民生文教常任委員会
18日 まちづくり特別委員会
産業建設常任委員会
19日 総務常任委員会
20日 委員長会議
21日 議会運営委員会
全員協議会
本会議（質疑・討論・表決他）

人事案件

◎小矢部市教育委員会委員の任命同意

日光 久悦 氏（坂又）

◎小矢部市固定資産評価員の選任同意

野澤 敏夫 氏（末友）

永年勤続議員表彰

◎全国市議会議長会並びに北信越市議
会議長会定期総会において、議員在
職一年以上表彰（議員特別表彰）を
受けられました。

嶋田 幸恵 議員



請願・陳情の処理状況

次のとおり、請願・陳情
の処理を行いました。

受理番号	件名（請願・陳情者）	審査結果
請願 第3号	T P P 交渉から即時撤退を求める請願 （農民運動富山県連合会砺波支部小矢部班 代表 辻慶輝）	不採択
陳情 第4号	安心・安全の医療介護実現の為の夜勤改善・大幅増員を国に求める陳情書 （富山県医療労働組合連合会 執行委員長 大浦義憲）	保留
陳情 第5号	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を国に求める陳情書 （富山県医療労働組合連合会 執行委員長 大浦義憲）	保留

9月定例会の日程

太字はCATV・インター
ネット録画配信の放送予定

5日(木)10時 本会議

9日(月)10時 本会議(提案理由説明)

全員協議会

10日(火) 議案調査日

11日(水) 議案調査日

12日(木) 議案調査日

13日(金) 9時 議会運営委員会

10時 本会議(代表・一般質問)

17日(火)10時 本会議(一般質問)

18日(水)10時 防災・環境対策特別委員会

14時 民生文教常任委員会

19日(木)10時 まちづくり特別委員会

14時 産業建設常任委員会

20日(金)10時 総務常任委員会

14時 決算特別委員会

24日(火)14時 委員長会議

25日(水)10時 議会運営委員会

13時 全員協議会

15時 本会議(質疑・討論・表決)

代 表 質 問

創生会 沼田 信良 議員

◎アウトレットモールについて

【問】東部産業団地事業用地について、市は早期に取得契約を締結すべきでないか。また、造成工事や関連公共施設整備工事が短期間のうちに進められるが、入札不調という事態が起きないよう配慮すべきでないか。

【答】現在、農地転用などの土地利用に関する協議を関係機関と鋭意進めているところであり、関係法令の諸手続を経た後、夏頃を目途に地権者の方々と土地売買に関する契約を締結したい。また、東部産業団地造成事業は、本市にとって新たな魅力創出の起爆剤となる大変重要な事業であるため、発注にあたっては適正な設計価格、発注方法のもと、計画的に事業が進捗するように取り組んでいきたい。

【問】国道8号線沿線のアウトレットモール周辺開発をどのように進めていくのか。見解を伺う。

【答】アウトレットモールの施設規模から、年間300万人を超える来場者があるものと期待している。この賑わいを持続的なものにするためにもアウトレットモール周辺に、ニーズにマッチした集客施設等が

できることが必要であると考えており、今後、進出に向けた具体的な意向や相談があれば、本市として可能な支援を行うなど、集客施設等の誘致促進に努めていきたい。

【問】市勢発展の大型プロジェクトである。市民への説明責任を果たしつつ、市と市民とが一体となって事業を推進すべきでないか。

【答】開発事業者の進出が正式合意に至るまでは、企業誘致の観点から、団地造成計画や企業等の情報を公表せずに誘致活動を進めてきた。今後、機会を捉えて、関係団体をはじめ市民の皆様にも事業等に関する説明をし、提案や意見等を聞きながら、よりよい事業になるよう努めていきたい。

◎市退職者への就職斡旋について

【問】市職員が退職後、関連機関や関連施設に再就職する「天下り」のような構図は市民の多くが疑問に思っている。既に県が実施しているのと同様に、市としても退職者の再就職先を公表してはどうか。また、関連機関や関連施設が必要人材については当該団体が公募すべきではないか。

【答】社会福祉法人等から、行政経験があり、知識やノウハウを有する者として市退職者の中から推薦

の依頼があった場合には、要請に応じて適任者の推薦を行っているが、再就職した法人等の規程に基づき給与を受け取っており、一般的に高額な報酬を受け取る「天下り」とは違うということを理解してほしい。なお、行政の透明性を高めるためには、市退職者の法人等への就職状況を公表することも一方策であると考えている。また、法人等が自立性を発揮することは大切であり、法人等のプロパー職員の登用や資格要件を定めた一般公募制の導入等の提案についても検討したい。

◎再任用制と定員管理計画について

【問】国家公務員の再任用制度が今年3月26日に閣議決定され、平成25年度以降に60歳で定年退職となる職員等が再任用を希望する場合には、原則として再任用されることとなった。いずれ地方公務員にも波及することになると思うが、定員管理計画との整合性についてどのように考えるか。

【答】本市では、条例に基づく再任用を適用した例はないが、長年にわたって培われた知識と経験を有し業務に精通する人材を活用することは有益な面が多いことから、「臨時職員」や「嘱託職員」として雇

用しているケースがある。現在の定員管理計画は平成26年4月までの計画期間であるので、新計画の策定如何については、退職後の職員の雇用形態や人材の計画的確保の問題等を考慮したうえで判断していきたい。

◎シェイクアウト訓練について

【問】シェイクアウト訓練(地震が発生したことを想定し、自分の身を守るための簡単な動作を参加者全員が一斉に行う自主参加型訓練)は、自分のことは自分で守るといふ「自助の力」を効果的に高めるものであり、「誰でも」「どこでも」気軽に参加できる訓練であると思うが、実施する意向はあるか。見解を伺う。

【答】ここ数年の地震研究結果によると、「まず低く、頭を守り動かない」ということを実行することが地震による人的被害を減らすための初期行動として適切であるといわれている。そのため、6月26日予定の市役所庁舎の避難訓練において「シェイクアウト訓練」を実施し、災害時に最初に行う自助行動として職員に意識付けするとともに、「シェイクアウト」の効果的な実施方法を検証していきたい。

代 表 質 問

新風会 義浦 英昭 議員

◎第6次総合計画の後期実施計画について

【問】総合計画後期実施計画の策定に当たっては「選択と集中」という観点もあると思うが、どのような方針で策定されるのか。大型事業も控えている一方で、子育て支援や高齢者対策等の市民サービスの低下を招くことがあってはならない。策定のスケジュールとあわせて見解を伺う。

【答】市民満足度調査の調査結果をもとに、重要度が高く、満足度が低い事業を中心に、後期実施計画に位置付けていきたい。中でも、アウトレットモール誘致事業は、市民満足度調査でも要望の高かった商業の振興や賑わいの創出、雇用の安定を実現するために基幹的な産業になるものと期待しており、最優先に取り組む課題として捉えている。ただ、この事業以外にも取り組むべき課題は多く、子育て支援や高齢者対策をはじめとする行政サービスの低下を招かぬよう、「選択と集中」に基づき、限りある財源の中で最大の成果を挙げていきたい。今後のスケジュールは、具体的な事業計画やその裏

付けとなる財政計画を総合的に査定し、後期実施計画の案を策定する。その後、市勢総合計画審議会や市議会12月定例会において報告し、策定する予定としている。

◎都市計画マスタープランについて

【問】都市計画マスタープランは今年度と来年度で見直しを図るとされているが、石動駅南土地区画整理事業や東部産業団地への商業施設誘致とともに国道8号線沿線の利用促進についても考慮する必要はある。土地利用の最適化を図って雇用を創出し、税収を確保することが必要ではないか。見解を伺う。

【答】市では、東部産業団地へのアウトレットモール誘致にあわせて国道8号線の四車線化を要望しており、国道8号線沿線の利活用の促進は必要なことであると認識している。用途地域外の土地利用については、農業振興地域との関係も重要であるので、マスタープラン策定委員会等や市民の意見を聞きながら、マスタープランへの位置付けについて検討したい。今後、市民へのアンケート調査や調査結果を踏まえた課題整理を行いながら、マスタープラン策定委員会等で方針をまとめ、パブリックコメ

ント等により市民の意見を聞きながら素案を作成していきたい。

◎米づくりの今後の方向性について

【問】近年、猛暑等の影響もあり、高温障害による米の品質低下が発生している。これまでの収量を求める米づくりから、品質を求めめる米づくりに大きく舵を切る時期ではないか。本市の将来を見据えた米づくりの考え方について見解を伺う。

【答】「メルヘン米」は、独自の栽培基準により、有機肥料による土づくりや農薬の使用成分の抑制に力を入れ、徹底した管理のもと生産されているところであるが、一方で、堆肥を主体とした土づくりと化学肥料や農薬の低減を一体的に行う環境に優しい農業も進められている。今後、産地間競争に打ち勝つためには、「メルヘン米」全体の価値の向上に加え、有機栽培米などの新しいブランド米を目指すことも一方策であると考えられるため、いちは農協や農業技術者協議会等の関係機関とともに調査研究を進めていきたい。

◎農業振興について

【問】農業特産物に関して、生産への支援はしっかりと取組が進んでいるが、出来上がった農業特産物

をどのように利用するかについては取組が進んでいないのではないかと。利用促進と今後の方向性について伺う。

【答】農業特産物の利活用については、小矢部市農業特産物推進協議会が主体となって普及促進を行っているが、今年度、補助事業を活用して農業特産物を使用した料理の開発やレシピ本を作成することとしている。季節の郷土料理を伝承していくことや市内の飲食店と連携しながら創作料理を開発することにより、地元食材の地産地消の推進や子ども達への食育の環境として活用することとしている。それとともに、イベントでの出向宣伝や料理教室の開催、市内飲食店での活用を通して利用促進を図っていききたい。

【問】農業特産物に関する更なる取組として、6次産業化を推進することや市内で食べさせる活動も必要ではないか。見解を伺う。

【答】農業特産物を市内で食べさせる活動については、市内飲食店での農業特産物を活用した料理のメニュー化を進めることにしており、農業特産物推進協議会と市内飲食店業組合において協議を行っているところである。生産者と飲食店とのネットワーク化を図り、更なる地産地消を目指していきたい。

一 般 質 問

◎質問者 白井 中 議員

【問】原子力災害において、本市はPPA地域だが、限りなくUPZ地域に近いので、国や県ばかりに依存せず、市が独自に主体的になつて対策を講じる考えや気概を示すべきではないか。

【答】原子力災害に対する対策については、まず国及び県の計画と整合性をとることが不可欠であると考ええる。これについて、3月の市防災会議において、県の中間報告をもとに素案を提出した。さらに県が基本的事項について計画を改定したことを受け、本市では原子力災害編の策定に現在取りかかっている。国の動向も的確に捉えて関係機関の連携のもと、できるだけ早期に作成していきたい。

【問】アウトレットモールの雇用について、中でもブランド品や高額な商品を扱うマネキンと言われる店員さんの確保が難しいのではないか。このため今から市外、県外の人材派遣会社に依頼する等、支援体制を整えておくべきではないか。

【答】施設運営スタッフや販売店員の採用は、アウトレットモール施設運営会社や出店するテナント会社が行うものであると考えられる

が、本市も公共職業安定所と連携し、必要に応じて民間の職業紹介所や人材派遣会社の情報を施設運営会社に提供するなど人材確保について支援していきたい。

【問】メルギューくん、メルモモちゃんを大いに訓練させて、決めポーズを作り、定期的に出演して本市をアピールし、さらに商品化を図るべきではないか。

【答】小矢部市シンボルキャラクター活用事業によって、イベントへの参加機会を増やすことやキャラクターグッズの開発を行うことにしている。決めポーズに関しては、小矢部キャラクタークラブの会員25名で現在一生懸命検討している。

【問】民間のプールのある総合スポーツ施設を利用して、寝たきりになることがないように、健康寿命対策に取り組むべきではないか。

【答】現在、健康づくりや生活習慣病予防を目的とした運動教室に加え、介護予防を目的とした介護予防教室を委託して実施している。昨年度は、22教室、延べ171回実施し、1156人の参加があった。引き続きいろいろな教室、方策を通じて、健康寿命の延伸に努めていきたい。

◎質問者 嶋田 幸恵 議員

【問】アウトレットモールの開設時期の目標はいつか。また、アウトレットモールのテーマは何か。

【答】北陸新幹線が開業する平成27年の春を目標にしている。また、開発事業者は「環境共生」ということに力を入れている。特色あるアウトレットモールとなるよう協議を進めていきたい。

【問】アウトレットモールやテナントの人材の確保について伺う。

【答】雇用や人材の確保は、開発事業者やテナントが実施するが、市も公共職業安定所とタイアップして事業者の要望に応えていきたい。

【問】まちなか再生プロジェクトやまちゼミの実施など商店街やまちなかの活性化に関する取組について伺う。

【答】今年度、商店街活性化策研究事業として、魅力ある商店街づくりを目的とした戦略プランを策定するとともに、有識者等で構成する商店街活性化戦略会議を設置する。まちゼミを含め、商店街の振興施策について調査研究を進め、商店街振興施策に反映させたい。

【問】PR効果をさらに高めるため、

メルギューくんやメルモモちゃんの着用者を募集するなど、しつかりと体制を整えてはどうか。

【答】現在、小矢部キャラクタークラブの会員25名がボランティアで対応していることから、現時点では着用者を募集する考えはない。ただ、貸出事業を行っているので、貸出先の着用者も交えて振り付けの研修や練習等実施していきたい。

【問】特性を活かした若手職員の配置と育成について伺う。

【答】職場での実務経験を能力開発の機会として捉え、できるだけ多くの職場を経験できるように配置に努めている。今年度から市長随行研修を取り入れており、幅広い意見を持つことや職員としての意識が高まることを大いに期待している。

【問】市内の各地区の人口減少率や高齢化率を把握したうえで各種対策を講じていくべきではないか。

【答】地区ごとに対策を講ずることは困難だが、人口減少の要因を分析し、今後の人口減少対策につなげることが大切である。また、今後一層高齢化の進展が予測されるため、関係機関の連携のもとに地域全体で高齢者を支える仕組みづくりに取り組んでいく。

一般質問

◎質問者 砂田 喜昭 議員

【問】これまで誘致した企業は用地買収や造成を事業者自ら行っていた。今回のアウトレットモール誘致に市が39億円もかけるのは前例がない。これを三井不動産に貸し付けるが、借地料見込みは22億円だ。「基本的に借地料をもって事業を賄う」という3月議会の答弁と異なる契約を見直すべきだ。

【答】これまで市が直接産業団地を造成し、進出企業と用地売買の契約をしたことはない。今回は東部産業団地を市が自ら整備し、その核としてアウトレットモールを誘致するので、これまでとは比較できない。今後、開発事業者と事業用定期借地権設定契約を締結する予定だが、契約内容については、専門家とも相談しながら、慎重かつ入念に精査していきたい。

【問】合意書を見ると、開発事業者が30年間借地料を支払い続ける保証はどこにもない。契約前に、10年後、20年後の撤退についての取り決めを見直すべきでないか。

【答】開発事業者は、市場調査や事業採算性を十分検討して、事業展開を決定している。また、北陸商圏の中心という地理的優位性や高

速道路の結節点という充実した交通インフラを高く評価したと聞いており、中途解約に対するリスクは極めて低いものと考えている。

【問】3月議会で、市長は「拙速なTPP交渉参加には反対だ」と答弁されたが、この見解に変わりはないか。

【答】この答弁は政府の正式な参加表明前のものだが、仮に交渉参加に至った場合も、国益を守るため国会で議論を重ね、国民合意を得たうえで判断していただきたいとの思いを込めたものであり、現段階も考えは変わっていない。

【問】本市では生活保護受給者の割合が極端に低い状況だが、生活保護基準の引き下げは、就学援助や税金の課税最低限の問題など、国民全体に影響し、生活レベルの引き下げにつながる。生活保護を受ける権利を奪うようなことがあってはならないと思うが見解を伺う。

【答】生活保護は、国の制度ではあるが、今後とも丁寧な相談対応、迅速な適正受給の処理、不正受給防止に努めていきたい。

*その他、次の質問がありました。

「住宅リフォーム助成について」「水道料金の引き下げについて」

◎質問者 石田 義弘 議員

【問】農業用施設に対する改修の要望状況及び今後の整備計画について伺う。

【答】市内の土地改良施設の大部分は老朽化が著しく、ため池についても自然災害による甚大な被害が懸念される状況である。今後は、昨年度土地改良区が実施した要望調査結果に基づき、地元負担等についても十分調整を行いながら、規模に応じた補助事業を活用して、順次、改修を行っていく。

【問】営農組織の農業機械の更新に対する支援策及び後継者不足の対策と取組について伺う。

【答】営農組織に対する支援策については、従前から国・県に対し採択要件の緩和や新たな補助制度の創設等を要望しているところであり、引き続き働きかけていく。後継者不足については、人・農地プランをはじめ、農業者を集めた説明会等で現状の把握や問題の整理に努め、解消を図っていきたい。

【問】文部科学省の有識者会議において、学校の運動部活動の指導のガイドラインが示されたが、それに対する見解を伺う。

【答】ガイドラインのとおり運動部活動を運営するには、指導者の人材確保や研修の充実、保護者・生徒の理解など克服すべき課題が多く、学校現場では戸惑いもあるようである。保護者の意見等も踏まえて、充実した部活動になるよう努めていきたい。

【問】南海トラフ巨大地震対策の最終報告を踏まえ、市の防災計画や備蓄計画等を見直す予定はあるか。

【答】地域防災計画は本年3月に見直しを行ったため、新たな見直しは考えていない。地域防災計画の家庭用食糧備蓄では、個人備蓄の啓発・奨励という「自助」の部分を明確に位置付けしており、家庭備蓄は3日分を目安としている。

【問】アウトレットの進出については、市はもとより県も大いに期待していると思うが、県とタイアップした事業を取り入れることは可能か。

【答】来県した旅行者の受入施設としてアウトレットモールを観光モデルコースに組み入れてもらうなど、観光客の誘引に関して、市と県とがタイアップ事業を展開し、相乗効果が発現できるものと考えている。

一 般 質 問

◎質問者 藤本 雅明 議員

【問】北陸新幹線の開業やアウトレットモールのオープンを踏まえ、今後、首都圏や沿線都市において、どのように本市の知名度を向上させていくのか。

【答】新幹線が停車しない本市としては、高岡市や金沢市と連携してPRを強化していく必要がある。今年度、富山県市町村タイアップ事業に参加し、県と県内10自治体が一体となって、首都圏や中京圏での出向宣伝、広告宣伝、旅行商品の造成を図りつつ、本市の観光資源を紹介していきたい。

【問】多くの観光客に来てもらうこと、市内でお金を使ってもらうことが重要だと思うが、見解を伺う。

【答】今年度、小矢部市観光土産品開発等支援事業補助金を創設したところであり、新たな土産品の開発を支援していきたい。

【問】ホームページやフェイスブック等でイベントや祭りの紹介とそれらの告知をしているが、開催結果や開催状況をタイムリーに情報発信できないか。

【答】開催状況のタイムリーな発信は現時点では難しいが、イベント

ト等の開催結果を発信することで、今回の誘客が見込める場合もあることから、今後は開催結果の発信についても取り組んでいきたい。

【問】本市の知名度を上げるため、メルギュークんとメルモモちゃん活躍ぶりを写真や動画で情報発信してはどうか。

【答】動画配信では、シンボルキャラクターの活躍や可愛い動きも配信できることから、実施について考えていきたい。

【問】いじめの発生件数とその対応方法について伺う。

【答】平成24年度は、23件が報告されている。2件については一定の解消が見られるが継続した取組を行っており、21件については解消されている。いじめに早期に対応するためには、子どもの異変を素早く察知することが重要であり、学校や家庭をはじめ、地域の皆さんとこれまで以上に情報共有と意思疎通を図っていきたい。

【問】ふるさと教育の取組について伺う。

【答】ふるさとを学ぶための地域教材を作成しているほか、教職員の指導力向上にも努めている。今後とも、子ども達がふるさとに愛着を持てるよう取り組みたい。

議会だよりDVDを作成

小矢部市議会50周年記念として、小矢部市議会だよりDVDを作成しました。

DVDには、小矢部市議会だより第1号（昭和46年5月発行）から第168号（平成25年2月発行）までの電子ファイル（PDFファイル）が収録されています。

連綿と続いてきた小矢部市議会の広報資料をDVDにてご覧いただけます。

※DVDの貸出を希望される方は、市民図書館又は議会事務局までお問い合わせください。

傍聴のお知らせ

市議会では、市民の皆様の傍聴をお待ちしております。本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

※電話、口頭による申し込みはできません。

平成 25 年度 議長交際費支出状況

平成 25 年 4 月～平成 25 年 5 月分 (単位：円)

区 分	件数	金 額
1 慶弔・見舞費	2	15,000
① 御祝・寸志	1	5,000
② 餞 別	0	0
③ 香典・供物	1	10,000
2 協 賛 費	4	12,825
3 会費・懇談会費	2	17,000
4 そ の 他	3	9,000
合 計	11	53,825
平成 25 年度予算額		1,400,000
執 行 率		3.84%



■ 会務報告

平成 25 年 3 月 26 日から平成 25 年 6 月 6 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
25. 3. 26	高岡地区広域圏事務組合議会 議員協議会・定例会	・平成 25 年度一般会計予算・分担金 ・平成 24 年度一般会計補正予算・分担金	高岡市
4. 4	第 88 回北信越市議会議長会評議員会・ 総会	・平成 24 年度会務報告 ・平成 24 年度会計歳入歳出決算及び慶弔基金会計歳入歳出決算報告 ・平成 25 年度会計歳入歳出予算及び慶弔基金会計歳入歳出予算 ・会長及び各県市議会議長会提出議案	富山市
4. 10～12	議会運営委員会行政視察	・市民の意見聴取と市政への反映について ・議会改革の取り組み状況について ・定住人口増の施策について	沖縄県糸満市 沖縄県読谷村
4. 22・23	高岡地区広域圏事務組合行政視察	・施設調査 東部総合処理センター焼却施設	兵庫県西宮市
4. 25	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・富山県並行在来線対策協議会の報告について他 6 件報告	第一委員会室
	議員懇談会	・一部事務組合議会からの報告等	第二委員会室
	議会運営委員会	・平成 25 年 5 月小矢部市議会臨時会 議案第 34 号、承認第 2 号、承認第 3 号について審議	第二委員会室
	議会だより編集委員会	・第 169 号発刊について	第二委員会室
5. 2	全員協議会	・平成 25 年 5 月小矢部市議会臨時会提出議案について	第一委員会室
	議会運営委員会	・平成 25 年 5 月小矢部市議会臨時会 議案第 34 号、承認第 2 号、承認第 3 号の発言通告及び採決方法 について審議	第二委員会室
	本会議	・平成 25 年 5 月小矢部市議会臨時会 議案第 34 号、承認第 2 号、承認第 3 号について審議	議場
5. 7～9	民生文教常任委員会行政視察	・NPO 法人子育て支援情報センターについて ・小中一貫校の開校について ・地域の伝統を生かした教育について ・ICT 機器を生かした教育について ・指定管理者による図書館運営について	佐賀県唐津市 佐賀県多久市 佐賀県武雄市
5. 13	富山県市議会議長会監事会	・平成 24 年度会務報告 ・平成 24 年度歳入歳出決算	富山市
5. 14	民生文教常任委員会	・施設調査 2 箇所 ・健康おやべプラン 21 (第 2 次)の策定について報告	市民図書館 おとぎの館図書室 第二委員会室
5. 15～17	産業建設常任委員会行政視察	・公共下水道の再評価について ・合併浄化槽による整備への方針変更について ・組合経営理念等と農産物直売所について ・地産地消の取組みについて ・PFI を用いた浄化槽市町村整備推進事業の実施について	大分県由布市 大分県日田市 (JA 大分大山町) 福岡県香春町
5. 20	産業建設常任委員会	・空き家実態調査の結果について報告	第二委員会室
5. 20～22	総務常任委員会行政視察	・アウトレットパーク開設に至る経過と現状について ・まちなか再生総合プロジェクト事業について ・防災活動「江別シェイクアウト防災を考える 5 分間」について	北海道北広島市 (三井アウトレットパーク札幌北広島) 北海道苫小牧市 北海道江別市
5. 21	北陸新幹線建設促進大会・同盟会総会	・建設促進大会(経過報告・決議) ・建設促進同盟会総会(事業報告・収支決算・事業計画・収支予算)	東京都
	県選出国会議員との懇談会	・各市議会要望要旨説明	東京都
5. 22	第 89 回全国市議会議長会総会	・報告(一般事務及び会計等) ・議案審議(部会及び会長提出議案)	東京都
5. 23	防災・環境対策特別委員会	・土砂災害ハザードマップの配布について報告	第二委員会室
	まちづくり特別委員会	・施設調査 3 箇所 東部産業団地事業計画地 空き店舗等出店事業現地 石動駅南土地区画整理事業現地	東部産業団地他
5. 24	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・夏の節電対策の実施について他 1 件報告	第一委員会室
5. 27	総務常任委員会	・施設調査 1 箇所 ・小矢部市職員の給与削減について報告	フロンティアパーク 第二委員会室
5. 28	砺波地域消防組合議会全員協議会	・再編消防署所 1 基本設計の概要について等報告	砺波市
	国道 8 号改修促進期成同盟会総会	・平成 24 年度事業報告及び決算報告 ・平成 25 年度事業計画案及び予算案 ・事業説明 ・要望書決議	高岡市
	小矢部伏木港線改修期成同盟会総会	・平成 24 年度事業報告及び決算報告 ・平成 25 年度事業計画案及び予算案 ・事業説明 ・要望書提出	高岡市
5. 30	議会運営委員会	・平成 25 年 6 月小矢部市議会定例会提出議案等について	第二委員会室

■ 市外からの行政視察

(2 件 17 人)

年月日	視察者	視察項目	人数
25. 5. 8	朝日町議会	・義仲・巴関連について	9 人
5. 14	滋賀県東近江市議会産業建設常任委員会	・耕作放棄地解消事業について	8 人

委員会報告

各委員会の審査過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、防火・防災について、次の点に特に留意して進めること。

市の防災危機管理班については、組織構成を充実し、明確な活動計画を立て、自主防災組織や防災士との連携を強めるなど班の機能を上げ、災害時には、最大限の力を発揮すること。

また、消防団員の確保には、活動しやすい環境の整備が必要不可欠であり、特に、被服費等については、実態に応じた対応を行うこと。

二点目は、空き家対策について、調査した結果をもとに、「防災」、「犯罪防止」、「活用」の面から全庁的な視点で検討をすすめる、自治会と連携するとともに、危険な空き家につ

いては、速やかに対応し、安否安心なまちづくりをめざすこと。

三点目は、市税の収納率をあげるため、滞納徴収班を中心に、日々努力されて成果を上げているが、今後も、引き続き、滞納処理に取り組むこと。

産業建設常任委員会

一点目は、県水の買い入れ水量や単価について、現在、県企業局との間で交渉が行われていることだが、より一層の水道料金の引き下げに向けて、粘り強く交渉を行うこと。

二点目は、今年三月、政府はT P P交渉への参加を表明したが、交渉内容に関する情報の少なさから、国民に不安が広がっている。T P Pは包括的な経済連携協定であり、その影響は多岐にわたると考えられるため、国内産業や雇用に与える影響などT P Pの交渉に関する情報を広く入手

すること。

三点目は、本定例会において、多くの議員から指摘のあった東部産業団地に面して東西に延びる国道八号線沿線の利用促進を図る施策を講ずること。

民生文教常任委員会

集をするが、地域の活性化や特色あるまちづくりの推進を目的として市民自らが考え、みんなで一緒に行動する事業に対しての補助金はとても意義のあることだと考える。事業の趣旨にのっとり、本当に必要な事業を対象とし、内容を慎重に精査して事業追加に努めること。

一点目は、今年度は石動小学校校舎改築事業に加えて、国の二十四年度補正予算で大谷小学校校舎、体育館、東部小学校校舎の耐震工事が実施されることになった。これにより小矢部市内すべての保育所、幼稚園、小学校、中学校が耐震化となり、子どもたちの安心・安全な環境が確保される。改築、耐震工事の三事業が同時進行することになり、担当課は大変忙しいとは思いますが、工事の発注にあたっては、地元企業が活性化するためにも、計画性を持って進めること。

二点目は、おやべ型1%まちづくり事業補助金の追加募

編集後記

この度、小矢部市議会50周年記念として、「議会だよりDVD」を作成しました。議会だよりは、昭和46年5月に第1号が発行されてから、今回の第170号に至るまで、定例会ごとに発行し、42年余りが経ちました。

過去の議会だよりを眺めると、当時の市議会の様子はもちろんのこと、市の重要施策や当時の課題などを知ることができる歴史資料としての一面を持つことが分かります。

積極的な情報公開が求められる中、議会広報の重要性を再認識しつつ、今後ともわかりやすい紙面づくりに努めていきたいと思っています。

今後とも市民の皆さんのご支援とご協力をよろしくお願ひします。

今回の「議会だより」は、平成25年11月の予定です。

(議会だより編集委員一同)

